

(仮称) 三次市新学校給食調理場整備計画(案)に係る
パブリック・コメントの結果について

令和2年11月

三 次 市

1 意見募集の概要と結果

(1) 概要

ア 公表した案

(仮称) 三次市新学校給食調理場整備計画 (案)

イ 公表の場所

三次市ホームページ, 市役所本庁東館1階受付, 本館5階学校教育課, 市内7支所

ウ 意見の募集期間

令和2年10月14日(水)～令和2年11月4日(水) 22日間

(2) 結果

ア 提出数

67通 (電子メール22通, ファックス6通, 持参及び郵送39通)

2 意見の内容と市の考え方

番号	いただいたご意見	意見に対する考え方
1	<p>調理場の再編に旧三次市だけでなく、作木布野君田三良坂、吉舎、三和、甲奴もいっしょに考えられないですか。</p> <p>旧三次以外の調理場は基準に準拠していますか。</p> <p>旧三次市を使うのを卒業してはいかがですか。いつまでたってもひとつになれないように思います。</p>	<p>本計画は、旧市内 6 調理場を対象とした計画としています。利用可能な旧町村内の施設については本計画の対象としていませんが、現行の衛生管理基準に適合していない施設もあります。施設的には利用可能でありそれらについては将来的に対応していきます。</p>
2	<p>これからの三次市の将来を担う子どもたちの食育は大切なものです。</p> <p>食事は衛生的な環境で作られ、すべての子ども達に安心安全な食事であること、そして、子ども達の健康な心身を育てる豊かな食事であることが一番大事です。そしてまた、すべての子ども達にその食事を公平に提供できることが必要です。2 番目は、いかに効率よく経済的に事業を進めていくかということだと思います。そのためにも調理場の再編集中化は必要だと思います。集中化により衛生的な環境改善も進めていかれることと思います。</p> <p>すべての三次市民は、まずは子ども達の健康的な成長を優先的に考え、そうなる為にはどうあるべきか考えなくてはなりません。個人、地域にこだわらず、冷静で俯瞰的にこの状況を捉え三次市の将来を考える必要があります。</p> <p>あたたかなご家庭で、豊かな心と体を育て、地域に出た時には、あたたかな市民が守る。そんな三次市であってほしい。と願います。</p>	<p>整備計画(案)の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p>
3	<p>整備計画に賛成です。耐震化問題解消・効率的運営のため早急な建設が必要であるのに、ほんの一部の偏った意見による建設遅延に腹立たしささえ覚えます。我が子もデリバリ一給食を利用していますが、周りの保護者の方々も殆どが同じ意見です。一部の方たちの必要以上の住民説明要望、民間委託の安全性への危惧、地産地消へのこだわりなど、これ以上は不要です。</p>	<p>整備計画(案)の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p> <p>なお、運営については市において実施します。効率的な運営についてはその中で検討を行っていきます。</p>

	<p>私は、小中学校 PTA 会長や役員も何年も務めました。新調理場計画を遅らせることが正義であるかのように扇動する一部の方々の強気な姿勢に押され、自己保身から自分の計画賛成意見を言えなかったことを後悔しております。</p> <p>早期建設による、地震災害時の不安解消、民間委託による効率化実現、不必要な協議に係る市職員や PTA 関係者の時間と予算の不効率の解消を強く望みます</p>	
4	<p>それぞれの現有施設を新たな水準に合わせて改築するとどうなるのかが示されていない。比較ではなく、この案はどうかについてのみにパブリックコメントを求めている、意図的ではないにしても、卑怯な聞き方と言われたいか心配だ。</p> <p>現在の雇用者が新しい施設に移る際にどうなるのかが示されていない。三次市にとって雇用は大きな問題である。もし雇用者を減らすことになるのなら、少なくとも、その雇用者がどうなるのかは明示するべきであろう。</p> <p>新しい施設が何らかの事情で機能を発揮できなくなった時のバックアップ体制が示されていない。集中すると通常時の効率は向上すると期待できるが、非常時への対応も当初から検討しておく必要がある。簡単な対応で済むのなら、そのように示すだけだから、省略するべきではない。</p> <p>以上、この案はパブリックコメントを求める水準に達していないと疑われる。</p>	<p>既存施設の改修については、施設毎に条件は異なりますが、現在の衛生管理基準に適合した施設の建築を行うには、建設面積の確保が出来ない箇所や、建築基準法の規制に該当する箇所があるなど、費用面以外での障害もあります。</p> <p>計画(案)に対して意見を求めるのがパブリックコメントです。</p> <p>現在市が雇用している職員については、継続雇用を検討しています。</p> <p>調理場を 1 箇所集中させず複数箇所整備したとしても、非常時に調理配送するなどのバックアップ体制を取ることは出来ません。</p> <p>急遽の事態また、災害などの有事に備え、非常食などを備蓄できるスペースを設けるなど、防災機能を備えた施設の整備を行います。</p>
5	<p>三次市の地形や河川の状況、先々の旧郡部の調理場の統廃合や吸収について将来を考えて新しい調理場を同時でなくてもいいので 2 箇所以上建てておくべきだと思う。今ある調理場はとにかく古いので、これまで大きな事故が無かったのが不思議なくらい。(小さいことはたくさん起きている。子どもにまで行く事故でないということで・・・) 存続を求める意見には理解できるが、現状で施設の衛生管理に無理があること、地場産も生産者の高齢化や農業の衰退で今までのように続けられることは少ないということに</p>	<p>本計画は、旧市内 6 調理場を対象とした計画としています。利用可能な旧町村内の施設については本計画の対象としていません。</p> <p>建築規模については、比較検討した結果 1 箇所整備の計画としています。</p> <p>将来を担う子どもたちに過度な財政負担をさ</p>

<p>理解も必要。学校内で時間になると給食のにおいを感じながら勉強するのは 1 番の食教育ですが・・・調理場としてもあまりに食数が少ないと、食材を供給してくれる業者がいなくなること、高価になること、機械や釜に対して量が少なく無駄が多くなることもあり、ある程度の食数は必要であること。しかしそれはせいぜい 500 食までで、それ以上になると加工品に頼らざるを得なくなることも知ってほしい。アレルギー対応も子どもの安全を考えたときすべて受け入れることは不可能で安易になんでも対応します(除去が基本)とかいうのはやめてほしい。除去する作業が簡単ではないことも考えるべきで、できないことはしないという勇気も安全のために必要。中学校も給食になることには賛成ですが、三次の配送校の数から考えて喫食時間 2 時間以内を遵守するためにも、小・中別に調理場建設するという方法も考えてほしい。(配分量や個ものの大きさ別で手間が余分にかかる) 現在のように教職員の若返りもあり、食育や給食の指導に課題も多い中、給食をたべている現場に栄養士がいることができないこと市教委が思われている以上に特にアレルギーについては危険が多い。家庭での食生活が十分に送れない子どもが以前より増えている。昔のように子どもにだけは・・・という風潮も今は昔・・・給食は食教育での教科書。しかし福祉的要素も現在さらに増している役目だと思われる。ただの昼食ではないことも認識して大規模大量調理には限界があると知ってほしい。</p>	<p>せないことも重要です。</p> <p>また、食物アレルギー対応については、児童生徒の生命に直結した問題と認識しており、安易な対応を行う考えはありません。</p> <p>地産地消については、現在供給いただいている農家の皆さんからも続き供給していただけるシステム構築に取り組みます。</p>
<p>現在の 6 か所から 1 か所への再編は乱暴だと思う。</p> <p>1 か所では食中毒、異物混入等のリスクに対応できない。</p> <p>市内の農産物を使用することができるのは現状の生産規模からすると、中小規模の調理場が現実的であると考え。</p> <p>6 であるならば、東部地区、西部地区、中央地区の 3 か所が望ましい。</p> <p>生徒規模の大きい中央地区以外の 2 地区で地域内農産物の使用をメインにし、生産体制が整い次第中央地区に拡大していくことが現実的だと考える。</p> <p>建設コストのことが持ち出されるが、地域の将来を担う子供たちのための投資との観点に立ち、建設、維持管理コストの上昇はある程度やもう得ない。</p>	<p>地産地消の推進については、JA 三次・生産者・栄養教諭や栄養士、市等で構成する「(仮称) 学校給食食材安定供給協議会」を新たに設立し、年間作付計画、出荷体制、生産者の拡大などに取り組んでいきます。</p> <p>安全安心な学校給食を将来にわたり、継続的に安定して提供していくため、1 箇所整備としています。</p> <p>将来を担う子どもたちに過度な財政負担をさ</p>

	食、水、環境の公的維持は市民生活のベースになるものだと考える。	せないことも重要です。 現在の学校給食衛生管理基準を遵守することで、食中毒を含む感染症、異物混入等を防いでいきます。
7	新学校給食調理場の整備にあたっては、将来に負担を残さない計画を進めてもらいたいと思っています。子どもたちのための施設を作るのに、大きな借金を残したのではかえって子供たちのためになりません。また、中学校の給食はぜひ実施してもらいたいと思っています。デリバリー給食での給食は温度や味、量などいろいろな不満があります。ぜひ早く給食を実施して、温かいおいしい給食を中学生にも提供してください。	整備計画(案)の趣旨に賛同のご意見として承ります。
8	新学校給食調理場整備計画に賛成します。 既存施設の老朽化が進む中で、新調理場の整備は安全、安心な給食提供のためには喫緊の課題と考えています。 また、新施設の特徴である ICT を利用した食育の推進や地産地消、「給食の見える化」といった要素は、給食の新たな価値を生み出すものとなるでしょう。 地産地消に関しては、大きな三次市の中でどのような作物が生産されているのか、様々な地域の子供たちが給食を通して体験することで、より深い郷土愛が生まれると思います。 また、「給食の見える化」の一環として、いつでもだれでも給食を試食できる「給食レストラン」を併設することで、子供や保護者だけでなく、生産者や広く市民が給食に関心を持つことが出来ると考えます。	整備計画(案)の趣旨に賛同のご意見として承ります。 ICT 等の情報技術の発達がこれからも加速すると考えられるため、様々なツールを利用するなどの取り組みを進めていきます。 学校給食の食材費は給食費で賄われており、余裕のある食材調達は行えないため、「いつでもだれでも」に提供することは出来ませんが、市内外の各種団体から事前に予約をいただくことで、調理状況の見学や、その日子どもたちに提供している給食を食べていただける取り組みを行います。 【整備計画(案) 3 整備の方針(5)に反映】 【整備計画(案) 7 多機能化に反映】
9	今般の学校給食調理場の整備に関わる考え方の一番大切な観点は、安全安心な給食を今後にわたり提供できるのかになると考えます。老朽化、浸水想定区域内にあること、衛	整備計画(案)の趣旨に賛同のご意見として承ります。

	<p>生管理基準の施行前のものであることから早急に新給食調理場の建設が必要です。また現在の市の財政状況から考えても、現在の施設を補修しながら使用することは安心安全な状況でない上に将来にツケを回すこととなります。一カ所に集約することで三次市内の農産物を小中全児童生徒が食べることができます。これこそ本当の三次市の地産地消だと思います。これからは地域での地産地消ではなく、全市的な地産地消であるべきです。安全安心な給食、全市的地産地消のため、1か所に集約された新給食調理場の建設をお願いします。</p>	<p>この度対象の各調理場においも、地場産物の使用割合はそれぞれ違いますが、今後割合の高い地域の取り組みを広げ市全体として地産地消の推進を行っていきます。</p> <p>【整備計画（案） 3 整備の方針(4)に反映】</p>
10	<p>今までは、各学校毎に給食を作っていたようですが、おそらく少人数で休みなどあまり取れなかったのではないかと思います。また、これだけアレルギーのことを言われているのに同じところで作っていたということで、各調理上の調理師の方への負担が大きかったのではないのでしょうか。新施設を作り一本化することで生産性も向上するでしょうし、働きやすい、休みの取りやすい環境へ変わり職員の定着率などの向上にもつながるのではないかと思います。</p>	<p>整備計画(案)の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p> <p>新たな調理場においては、食物アレルギー対応の専用室を整備する考えで、対象食材の混入の防止等の徹底を図ります。</p> <p>【整備計画（案） 3 整備の方針(1)-イ-(ア)に反映】</p>
11	<p>三次市新学校給食調理場整備計画に賛成です。三次市の子どもたちには安全で美味しい給食を食べて、学校での生活を有意義に送ってほしいと願っております。</p> <p>今の調理場は老朽化の課題があり、衛生面で万全とは言えません。また、アレルギー対応食も通常の給食と同室で調理されているようで、特別な対応が必要な子にとっては安全とは言えない状況だと考えます。</p> <p>新しい調理場の計画案では、こうした今の問題を解決できるような設備が整うため、実現していただければと思います。</p>	<p>整備計画(案)の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p>
12	<p>今回の新給食調理場計画にあたり、地産地消でなくなり生産者が見えなくなるという意見を聞きます。私が今まで経験させてもらったものの中では、給食時間に生産者の方からのメッセージを聞いたり、どのように野菜を育てているか、お話しに来ていただいたりしたことを覚えています。共同の調理場になっても、地産地消を大切にしていくこと</p>	<p>整備計画(案)の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p> <p>この度対象の各調理場においても、地場産物の使用割合はそれぞれ違いますが、今後割合の</p>

	<p>は変わらないし、今までより広い地域を対象にすることで、「たくさんの三次市の生産者さんに支えられながらおいしい給食を食べることができている」と子どもたちは実感してくれるのではないのでしょうか。これまで支えてくださっていた生産者さんが、調理場が集約されることで、もっと頑張ろうと思ったださるような、子ども達への還元が大切になると思います。新給食調理場の前向きな検討を期待しています。</p>	<p>高い地域の取り組みを広げ市全体として地産地消の推進を行っていきます。</p> <p>【整備計画（案） 2 基本理念に反映】 【整備計画（案） 3 整備の方針(4)に反映】 【整備計画（案） 3 整備の方針(5)に反映】</p>
13	<p>「三次市新学校給食調理場整備計画」に賛成 現在数カ所に分れて給食を提供しておられ、その調理場も耐震性が基準に合っていない、老朽化している等建て替えの時期と思います。 少子化が進むと考えられるので1か所に集約して基準に適合した施設を作っていただければ良いと思います。</p>	<p>整備計画(案)の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p>
14	<p>新学校給食調理場整備計画 賛成 これまでの調理場は老朽化しており耐震基準に準拠していなくその上浸水想定区域 将来児童、生徒数の減少 給食衛生管理基準に適合していない等これにお金をかけるのはムダなことばかり 新調理場を建設して全小、中学校へ安全安心な給食提供できることにより若い移住者も増加 是非この案が実現しますよう楽しみにしております。</p>	<p>整備計画(案)の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p>
15	<p>学校給食調理場再編（新調理場の整備、調理場の統合、既存調理場の活用）について、計画案どおり実施することに賛成です。公立中学校の「給食格差」については、広島市内においても問題となっていますが、三次市においては、新調理場を整備することで現在デリバリー給食及び弁当持参の状況を改善する方向を考えています。大変すばらしいことだと思います。現在、各調理場では、栄養士が児童生徒の年齢や身長体重等から給食摂取基準量を算出し、献立を作成しています。市内小中学校を完全給食にすることで、弁当を持参している7割強の生徒についても栄養管理の整った給食を提供することができます。デリバリー給食や弁当持参の市内中学校5校の生徒たちに、他の小中学校</p>	<p>整備計画(案)の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p>

	と同様の給食を提供すべきだと思います。	
16	<p>私は教職員として長年小学校で児童の教育に携わってきました。食事や睡眠などの基本的な生活習慣、健康が児童の学力向上を含め、児童の自己実現に関わる重要なベースになることを実感してきました。朝食をとらずに登校した児童は、顔色も悪く学習意欲や集中力・活動力の低下、体調の不調を訴えることが多く見受けられます。温かく、栄養バランスの良い給食を摂った午後は、元気に学習・生活を送り、顔色も良くなるということも多く経験してきました。</p> <p>また現在7人に1人の子どもが貧困の状態であるという社会調査もある中で、ますます学校給食や食育の重要性が高まっています。</p> <p>私は、三次市新学校給食調理場整備計画に賛成の立場で意見を述べます。</p> <p>私は、三次市内全ての小・中学校の児童・生徒に、安全・安心な学校給食を安定・継続して提供することは市行政の責務と考えます。</p> <p>現在、旧三次市内の5校の中学校はデリバリー給食と弁当の選択制になっています。しかも、デリバリー給食の選択率は約27%です。温かく栄養バランスのとれた昼食である学校給食を確保することは非常に重要です。生活の厳しい家庭、教育環境の厳しい家庭の児童・生徒にとって学校給食はより重要な食事と考えます。</p> <p>また、老朽化し、新耐震基準や学校給食衛生管理基準に適合していない学校給食共同調理場や学校給食調理場では衛生面や継続、安定した給食の供給に不安があります。ハザードマップでも、浸水想定区域内にある施設があり昨今の異常気象の多発、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を見ても、それらの基準を満たす新施設による安全・安心な給食の供給が必要です。</p> <p>温かい給食、生産者や調理員の皆さんの顔が見られるという点で自校給食が理想と思います。また地域の皆さんのこれまでの取組は本当に尊いものと思います。</p> <p>しかし、今後の児童・生徒数の減少、各校に新しい給食調理場を作る予算のこと等を考え、今回の整備計画にも地産地消の推進、生産者とのつながりを作る（仮称）学校給食食材安定供給協議会の組織を設立され、食育の推進を行われる計画なので、学校でもし</p>	<p>整備計画(案)の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p> <p>今回の整備計画(案)でも、市内全ての小中学校の児童生徒に対して、安全安心な学校給食を衛生的に可能な限り同じ条件で安定的に継続して提供することを目的としています。</p> <p>【整備計画(案) 2 基本理念に反映】</p>

	<p>っかり取組を行うことで、自校給食でないデメリットも少なくできると考えます。</p> <p>三次市内の全小中学校の児童・生徒が一日でも早く、温かく、安全・安心な給食を供給してもらい、健康で意欲的に学校生活、学習を行い、自己実現をはかるためにも、三次市新学校給食調理場整備計画を実施していただきたいと考えます。</p>	
17	<p>給食調理場が1ヶ所になるのは、三次市の子どもたちに平等に給食を食べさせてあげられる（小、中学校）のはいいかと思いますが、現在の調理場がなくなると市内周辺地域はますます過疎化するおそれがあります。若者たちの定住IターンUターンを必死で考えてる町内会にとっても不利な事だと思います。</p> <p>野菜の供給が減ってきているのも現況ですが、調理だけではない調理場に関わるその背景のことも考えて頂きたいと思います。</p>	<p>今回の整備計画（案）では、市内全ての小中学校の児童生徒に対して、安全安心な学校給食を衛生的に可能な限り同じ条件で安定的に継続して提供することを目的としています。</p>
18	<p>新しい学校給食調理場の整備計画（案）を拝見しました。老朽化した調理場を1箇所ずつ改修するには、調理場によっては、ハザードマップによる浸水想定区域内にあることを考えると、経費と時間がかかります。すべての施設を改修しすべての施設で衛生管理基準を満たすためには、計画（案）のとおり、一箇所に集約することが効果・効率的だと考えます。また、1箇所に集約することで、地産地消の取り組みも広範囲で展開することが可能となるでしょう。学校給食に三次産の食材を使うことが、地産地消の取り組みのすべてとは思いませんが、学校給食においてもできるだけ地産地消の取り組みを行うことは大切であり、そのことが子どもへの食育の推進の向上にもつながると考えます。三次の子どもたちでありながら、まだ食べたことのない三次市内で生産される野菜や果物を食べて、まだ知らない三次の農業を知るという食育の一環としての教育も可能となります。以上のことから、今回の整備計画案に賛成します。</p>	<p>整備計画（案）の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p>
19	<p>先日、知人から依頼された給食調理場の署名に名前を書きました。</p> <p>地元の食材を地元で食べられることや、アレルギーのある子供が安心して食べられる給食の実施について、賛同、応援する意味で署名しましたが、施設の老朽化や衛生面での心配事をなくし、より安全な場所に、新たに、学校給食調理場を建設することに反対する物ではありません。</p>	<p>整備計画（案）の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p>

	食は命をつくります。より安全で安心できる給食の提供を、どうぞ宜しく、お願いします。	
20	<p>市内全域の小・中学校へ給食を提供できる調理場の整備が早く進むよう希望します。運営開始後の衛生管理、ランニングコストを考えると、6つの施設を一本化するほうが効率がよいと考えます。</p> <p>市内全域から食材を提供していただき、三次市産の食材で地産地消をすすめればこれまで一調理場でしか提供されなかった特産品を市内全域の小・中学生に提供し食育を深めるきっかけになるかもしれません。</p> <p>また、中学校への給食提供を早く開始して欲しいです。</p> <p>調理場から給食を提供できれば、デリバリーより給食を選択する方が増えると考えます。</p> <p>働く親にとって、子どもたちへの作り立ての食事を提供していただけるのはうれしいです。</p> <p>安定して安全な給食提供を早期に実現するために、現在計画されている一調理場の整備を望みます。</p>	<p>整備計画(案)の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p> <p>イニシャルコストやランニングコストの軽減は大きな課題であり、今後の建築設計を行う中でもコスト面には十分に配慮していきます。</p>
21	<p>一カ所で給食を作るということは、もし食中毒が出れば大変なことになるし、四拾貫から川地まで配送するとすれば冷たくなったり、配送中のアクシデントがあったりする可能性があるし、とてもいい事はないように思う。</p> <p>中心部はいいかもしれないが、周辺の小・中学校は別に調理場を作ってほしい。</p>	<p>食中毒防止のため、学校給食衛生管理基準に適合した衛生水準を確保し、HACCP(ハサップ)の概念に基づく「大量調理施設衛生管理マニュアル」を遵守します。</p> <p>食缶は保温性の高い食缶を使用しますので、冷たくなりません。</p> <p>給食の配送については、安全な配送(運行)の徹底を図ります。</p>
22	<p>1. 何故、粟屋・三次・八次・田幸・十日市・川地地区のみを対象に計画をされるのですか、三次市全12学校区で計画していただけませんか。</p> <p>4, 0 0 0 食調理場が完成すれば、少子化も有り他6学区の調理場は順次廃止をお考え</p>	<p>本計画は、旧市内6調理場を対象とした計画としています。利用可能な旧町村内の施設については本計画の対象としていません。</p>

	<p>なのではないでしょうか。</p> <p>2. 子供の給食の安全・安心とリスク管理・危機管理に付いて疑問を持ちます。</p> <p>3. 子どもに食の大切さや感謝の気持ちを教え、地産地消を推進されるのであれば、3調理場以上の調理場が必要ではないでしょうか。(できれば、5調理場を希望)</p> <p>4. 学校給食調理場整備計画策定委員会に付いても疑問を持ちます。</p> <p>5. 学校給食に期待すること。以上5項目に付いて別紙意見を記入致しております。</p>	<p>現在の学校給食衛生管理基準を遵守し、食中毒を含む感染症の発生を防ぐ対策を講じていきます。万が一集団食中毒が発生したときは、学校給食衛生管理基準及び三次市学校給食危機管理マニュアルにより対応します。</p> <p>地産地消の推進については、JA 三次・生産者・栄養教諭や栄養士、市等で構成する「(仮称)学校給食食材安定供給協議会」を新たに設立し、年間作付計画、出荷体制、生産者の拡大などに取り組んでいきます。</p> <p>策定員会について、具体的な疑問点は不明ですが、学校給食調理場整備計画策定委員会については、市ホームページに委員名簿及び会議録等を掲載しています。</p>
23	<p>三次学校給食共同調理場は、施設も老朽化しており、児童への安心・安全な給食の提供に際しては、新調理場の整備が望まれるところです。新調理場となれば、衛生的に、可能な限り同じ条件で、安定的に提供できる施設が整うこととなります。現在の調理場間での格差解消も実現できると考えます。児童にとって、給食は、学校生活の中で、最も楽しみにしている時間の一つです。食を通して、命や健康を考える機会にもなります。学校給食の果たす役割は大きく、市内統一的に、食育が更に推進され、児童生徒がいきいきと学ぶことのできる学校の実現に向けて、この新調理場整備が契機となれば幸いです。</p>	<p>整備計画(案)の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p>
24	<p>市は学校給食に必要な三次産の野菜・果物等の安定供給を図るため、JA 三次、生産者、栄養教諭や栄養士、市等で構成する「協議会」を設立し、年間作付計画や集出荷体制、生産者拡大などに取り組むという。農業の振興のためにも1箇所の整備でしっかり取り組んでもらいたい。</p>	<p>整備計画(案)の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p>

25	<p>旧三次市内調理場を統合し建設することに賛成です。</p> <p>三次市の学校給食の課題は、共同調理場の在り方と老朽化にあると考える。まず、共同調理場の在り方として、他市の共同調理場は各学校の給食室とは違い、直属に市教育委員会が管理しているが、三次市の共同調理場は小規模で学校長が場長であることから、市教育委員会が管理者として責任をもつべきものがあやふやな状態になっている。</p> <p>したがって、地場産物の活用や学校における食育が市教育委員会として統一して推進されないまま、各調理場や学校に任せられたものとなり、格差がみられる。共同調理場の老朽化はひどく、現代にそぐわない衛生管理上非常に危険な状況の中で、毎日の給食調員や栄養教諭の努力によって食中毒発生等が抑えられているものである。三次市が直属に管理し責任をもって実施する学校給食には、新学校給食調理場整備は必要不可欠である。地場産物の活用や学校における食育に関する心配は、市体制整備で解決できる。</p>	<p>整備計画(案)の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p> <p>施設運営については市において行います。</p>
26	<p>旧三次市の調理場を1か所に統合して建設することは賛成です。</p> <p>人口減少・少子高齢化、近年の水害やコロナ禍の影響等により、今後市の財政状況はますます厳しくなると思います。調理場を1か所にすることで、建設費や維持管理費を削減し、健全な財政運営につなげてほしいと思います。</p> <p>安全・安心な学校給食の提供は当然のことで、早期に進めていただきたいです。</p>	<p>整備計画(案)の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p> <p>イニシャルコストやランニングコストの軽減は大きな課題であり、今後の建築設計を行う中でもコスト面には十分に配慮していきます。</p>
27	<p>子育て支援や親の負担軽減の面から、中学生への給食実施は早期に実現していただきたいです。</p> <p>子どもたちにとって、安全・安心な学校給食の提供や地産地消の推進は、非常に大切なことだと思いますが、市の財政状況は厳しくなっていますので、今後の市の財政運営のためにも、調理場を統合し、早期の建設をお願いします。</p>	<p>整備計画(案)の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p> <p>再編後においても、安全安心な給食の提供はもとより、地産地消の推進を行っていきます。</p>
28	<p>・今、建設の予定の給食調理場は、いずれは三次市内全域の小中学校1本化の配食になるのでしょうか？もしそのような構想があるのでしたら、旧三次以外の町の小中学校にもアンケートを取る必要があるのではないのでしょうか。なぜなら、後々「きいてなかった」と言うことになるし、見通しをたてておられるなら こだし にせずオープンにしていきたいです。</p>	<p>本計画は、旧市内6調理場を対象とした計画としています。利用可能な旧町村内の施設については本計画の対象としていません。</p> <p>地産地消の推進については、JA 三次・生産者・栄養教諭や栄養士、市等で構成する「(仮称)学</p>

	<p>・私の個人的な意見ですが、長い先を見通すなら、旧三次に1つ、北部に1つ、南部に1つの計3つの調理場ができるのが望ましいと思います。理由は“安全性”をうたっておられますが、もし1つだけの調理場で三次市全域をまわすようになると、食中毒が起きた時など、全ての小中学校が止まってしまうおそれがあります。一度に27億のお金をかけて1つの建物を作るより、少しコンパクト化して(4000食を減らす)、いずれは3カ所にというほうが良いかと思えます。</p> <p>北部、南部の<u>地域・子育てを充実させるためにも。</u> <u>食育の大切さを継続させるためにも・・・！！</u></p> <p>いろいろな地域・保ご者から要望があがっておられるのに対し、どう返していけますか？</p> <p>三次市が住みやすい町になるためにも、スリム化ばかりに捉われず、未来の子どもたちのことを考えて、今一度給食調理場のことをよろしく願います。</p>	<p>校給食食材安定供給協議会」を新たに設立し、年間作付計画、出荷体制、生産者の拡大などに取り組んでいきます。</p>
29	<p>三次市新学校給食調理場整備計画につきましては三次市市長の記者会見・広報三次・ピオネットのインタビューなどで基本的な方針や必要性は理解しました。出来るだけ早く実現されることを望みます。しかし今回示された整備計画には不明確で理解できない部分があります。もう少し一般市民が理解しやすい内容にして頂きたい。内容の具体化・建設後の運営・これに関連した今回整備対象外施設の状況や今後の整備計画等今回の整備計画との関連事項について附則資料でもいいですから情報の開示をされることを望みます。今回提示された内容についての疑義については以下の通り列記します。</p> <p>1、この説明だけでは、不明確で理解しにくい事があります。</p> <p>(1)旧三次市内6カ所の調理場については説明して有りますが、旧町村の学校給食場について説明がありません。今回対象外(旧町村)の調理場は今回整備される調理場と同等の機能を揃え安全安心な調理場になっているのかどうか見解(説明)がありません。だから、「市内全ての市内全ての小中学校の児童徒に対して安全安心な学校給食を衛生的に可能な限り同じ条件で安定的に継続して提供していく」と言い切れないのではしょうか。この事は児童・生徒数の推計でも旧三次市内となっており三次市全体及び旧町村</p>	<p>整備計画(案)の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p> <p>本計画は、旧市内6調理場を対象とした計画としています。利用可能な旧町村内の施設については本計画の対象としていませんが、現行の衛生管理基準に適合していない施設もあります。施設的には利用可能でありそれらについては将来的に対応していきます。</p> <p>また、施設設備、備品等のイメージ画像や及びレイアウト等については、今後設計を行う予定としていますので、改めてお示しします。</p> <p>施設管理については、市が行うよう考えています。また、管理運営にあたっての概算費用については、今後施設設備の設計を行う中で、調</p>

の児童生徒の推計についても同様です。三次全体の調理場整備計画の方向付けの説明を行った上でその一環として今回の整備計画は示されることを望みます。

(2)～調理場再編を進めるため「三次市学校給食調理場整備計画策定委員会」の意見集約報告書「保護者アンケートなどを通じた市民の皆様のご意見を考慮しつ安全で安心な給食を継続的に提供するための施設整備将来の児童生徒の減少、運営面など、様々な観点から検討を行ってきました。～と説明してありますが、今回提示された、「(仮称三次市新学校給食調理場整備計画(案))」をなぜ始めから示して「三次市学校給食調理場整備計画策定委員会」等で検討されなかったのか理解できません。そうしていればもっと早い時期にもっと具体的な計画案が出来たのではないかと思います。市議会での議論も変わっていたと思います。

2. 整備計画の方針について

(1) 地産地消の推進を進めるにあたり「(仮称学校給食食材安定供給協議会)」を新たに設立し検討されることは賛成です。

(2) 食育の充実の中で「給食の見える化」の実施は素晴らしい発想だと思います。このシステムが将来今回整備計画の対象とならない調理場(旧町村調理場)についても今回の実績を踏まえて検討されることを望みます。

3. 設備の概要については説明不足だと思います。

(1) 少なくとも全体の概要がイメージできるようなパース・イラスト・イメージ写真等で図示(絵示)してほしい。

(2) 特に諸室についてはレイアウト図などで各部屋の間取りや作業の流がわかった方が現状課題の解決に繋がっているかどうか解りやすい。

(3) 調理に使う設備器具のイメージできる様に写真(他市の調理場のサンプル写真等)で示した方が安心・安全の確認か解りやすい。

(4) 概算事業費についても上記(1)(2)(3)項が見える方が解りやすい。

(5) 概算予算について調理設備が什器・備品・新たに導入する会議システムで収まるかどうか分からない。従って本当にこの予算に収まるかどうか疑問です。予算が決って

理器具の熱源等により大きな変動があると思われるため記載しておりません。

策定委員会では色々な意見をいただき検討を行いました。本整備計画(案)は策定委員会の意見を反映させて作成したものです。

	<p>から仕様や細部は決めればよいという考え方もありますが、この場合、新調理場建設の目的を達成する内容の施設になっているかどうか市民には解りません。(今まで市議会等で説明された数値とはかけ離れています。)</p> <p>4. 施設管理運営にいて不明確です。</p> <p>(1)新調理場の管理は三次市直営なのか指定管理などで外部に委託されるのか不明確です。</p> <p>(2)この施設を管理運営するのに必要な費用の概算が明記されていません。</p> <p>5. その他</p> <p>(1)今回提示された内容が1年前に提示されていたらもっと効率的に議論がされたと思います。この計画で予算が2,709百円必要との提示があれば数カ所の設置が財政的に困難であることは理解できたと思います。</p> <p>(2)今回提示された内容で12月市議会での議論に注目します。</p>	
30	<p>新しい調理場整備に賛成します。</p> <p>○子どもに提供される食事は、現在の衛生管理の基準を満たした調理場で安全に作られるべきだと思います。</p> <p>○市内の子どもたちになるべく平等に給食の機会(食育や地産のものを食べることを含む)があるべきだと思います。</p> <p>○安全でおいしい給食を継続するためには、そこで働く人材がとても大切だと思います。ソフト・ハード両面で働きやすい環境を整え、働く人を大切にしてほしいと思います。よろしくお願いします。</p>	<p>整備計画(案)の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p>
31	<p>旧市内の調理場が1箇所になることで、調理員の人数が増え、それによって調理員同士での病気等の感染リスクが高まると思われます。</p> <p>給食がある日に、調理員の人数が確保出来ない時の対応はどのようにお考えでしょうか。</p> <p>具体的な案をお持ちでしょうか。</p>	<p>学校給食衛生管理基準及び三次市学校給食危機管理マニュアルにより対応します。</p> <p>また、必要な人員は確保していきます。</p>
32	<p>○給食センターも老朽化もみられる。</p>	<p>整備計画(案)の趣旨に賛同のご意見として</p>

	<p>○ハイテク、自動化の進んだ設備も考えを、</p> <p>○子供の数も減少有ります。</p> <p>○三次市一括にして設備を考える。</p>	承ります。
33	<p>整備計画（案）1～5大旨，了とします。</p> <p>理想は自校方式もしくはそれに近い形が望ましいとは思いますが現実には，この案でやるしかないかなと思います。</p> <p>施設の整備運営とは少し異なりますが，「食材の安全」を考えた時に憂慮すべき事態が進行しています。参考となるものを入れましたのでごらんください。</p> <p>今後とも，本市の教育の更なる向上発展を願っております。</p> <p>子供たちが三次に生まれてよかったと思ってくれるように。</p>	整備計画（案）の趣旨に賛同のご意見として承ります。
34	<p>今の調理場は，国の基準に合っていないと聞きました。もし，事故があったら大変だと思うので，新しい調理場を作ってほしいと思います。</p> <p>デリバリー給食は，あまり人気がありませんでした。やっぱり，給食は作り立てで温かいものの方がいいと思います。三次の子どもたち全員が，おいしい給食を食べられるようにしてほしいです。</p> <p>調理場が1カ所でも，地元で作った野菜を使えるし，オンラインでも食育もできるようなので，いいと思います。見学スペースや試食スペースもあるみたいなので，給食を作るところを見てみたいです。</p>	<p>整備計画（案）の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p> <p>ICT等の情報技術の発達がこれからも加速すると考えられるため，様々なツールを利用するなどの取組を進めていきます。</p> <p>【整備計画（案） 3 整備の方針(5)に反映】</p> <p>【整備計画（案） 7 多機能化に反映】</p>
35	<p>子供達に安全安心な給食を提供するためにもぜひ厳しい衛生水準を満たした新しい学校給食調理場を設置してください。</p>	整備計画（案）の趣旨に賛同のご意見として承ります。
36	<p>新学校給食調理場整備計画（案）賛成</p> <p>現在の調理場は，老朽化，建築基準法にそぐわない浸水想定区域等々新しく建設して，安全で安心な給食を提供して下さるようお願いいたします。又，父親一人家庭で中学生の子供の弁当を作っておられる方が皆んなと同じ物を食べさせてやりたいと新しい調理場を楽しみにしておられます。</p>	整備計画（案）の趣旨に賛同のご意見として承ります。

37	<p>現在、調理場に勤務しております。アレルギーについてですが、整備計画（案）を読ませていただきましたが、全てのアレルギー児に対応できるように受け取れました。今後、案がとれてからアレルギーについても詳細を決められるのだと思いますが、どのような線引きがされるのでしょうか？現在対応している内容のまま、全て継続するというのは、現場としては、正直困難です。調理場内だけでなく、配膳、喫食が行われる学校現場でも事故を起こさないためにも、誰にでも分かり易い線引きをしてもらいたいと思います。それから、調理場の数を1ヶ所としておられますが、万が一調理場内でコロナウイルスや、その他の感染症が起こった場合、どのように対処されるのでしょうか？災害時の事なども考えて、2ヶ所以上調理場がある方が良いように思いました。</p>	<p>食物アレルギー対応については、文部科学省が示す「学校給食における食物アレルギー対応指針」に基づき、「三次市学校給食危機管理マニュアル」を作成し対応しており、今後もマニュアルに沿った運用を行ってまいります。</p> <p>また、食中毒防止のため、学校給食衛生管理基準に適合した衛生水準を確保し、HACCP（ハサップ）の概念に基づく「大量調理施設衛生管理マニュアル」を遵守します。</p>
38	<p>私は、現在、給食調理員をしています。日々大変な毎日です。</p> <p>4000食のセンターと言われてもどんな感じで作業するのか全然想像できませんが、私なりに思う事は、地元の野菜を使うのは難しいのではないかと思います。</p> <p>地元の野菜は虫がついていたりすることが多く、形もふぞろいで、玉ネギやじゃがいもなど切ってみたら中が腐っている事が多々あります。</p> <p>あと4000食のアレルギー対応するのも難しいと思います。全てが配送になるので、もし間違いが起きた時の対応はどうなるんだろうと思います。今みたいにその学校で作る訳でないし、調理員、栄養士、配送、場長、担任の先生、アレルギーの生徒すべてにおいて連携がとれないとできないと思います。間違いがあってはいいませんが、100%間違えないとは言い切れないと思います。</p>	<p>食物アレルギー対応食と他の給食との混同を防ぐため、「調理場⇒学校⇒学級等」の手順について、「三次市学校給食危機管理マニュアル」を作成し現在も対応しております。調理場規模にかかわらず継続し安全安心な給食の提供を実施します。</p> <p>使用食材の検収体制の構築や設備整備を行い、可能な限り地元食材の利用を行ってまいります。</p>
39	<p>新しくセンターが出来ても、地産地しょうはむずかしいのではないのかと思います。食品の大きさなど、さまざまでセンターだと大きさをそろえてほしい。今の給食室の様に、子供達と接する時があるが、センターだと直接、接する事が出来ず、子供達の声が聞かれない。</p>	<p>JA 三次・生産者・栄養教諭や栄養士、市等で構成する「(仮称) 学校給食食材安定供給協議会」の中で取り組んでいきます。</p> <p>新調理場整備後は、ICT等を活用し調理場と配送校17校をつなぐことで、これまで聞けなかった配送校の声も聞こえるようになります。</p>
40	<p>地産地消は地元の方も子供達にとっても大事なことです。4000食を作るにあた</p>	<p>整備計画（案）の趣旨に賛同のご意見として</p>

	<p>り、大きさや量は確保できるのでしょうか？バラバラの大きさや違う種類がきてしまうと、原材料を1つ1つ取らないといけなくなりますし、調理での加熱時間が違ってくるので、野菜の大きさの規格や量を確保できるようにお願いします。</p> <p>アレルギーは新しい調理場が出来るまでに整理していただくと助かります。</p> <p>今は小学校だけですが、中学校も作るようになれば数が増えますし、配送しないといけないので、確実に安全な給食が提供できるように対応できるアレルギーの数を決めた方がよいと思います。コンタミなど症状の重い子供さんはお弁当にして頂くなどの対応が必要だと思います。</p>	<p>承ります。</p> <p>安全性を最優先とするため、「三次市学校給食危機管理マニュアル」においても、「施設設備、人員等を鑑み無理な（過度に複雑な）対応は行わない」、「原因食材が多岐にわたる場合や、重篤なアレルギー症状を引き起こす可能性がある場合等々については家庭より弁当の持参を認める」こととしています。</p>
41	<ul style="list-style-type: none"> ・出来る限り地産地消を目指すのであれば、JA 等と連携をとって、ある程度野菜の規格を定めて、契約農家さんに給食向け野菜を大量生産してもらおうなどのようにしないと地域の野菜を使用するのは難しいと思います。 ・センターでの業務がどのような感じになるのかなかなか実感がもてないため、三次市にできるのと同じくらいの規模のセンターを見学に行きたいです。（できれば、午後の片付けも見てみたいです。） 	<p>JA 三次・生産者・栄養教諭や栄養士、市等で構成する「(仮称) 学校給食食材安定供給協議会」の中で取り組んでいきます。</p>
42	<p>○地産地消での野菜の企画を 4000 食もそろえるのはむずかしいと思います。虫、卵などがついてる野菜を洗うのは、とても大変なので、いろいろ考えてほしいです。</p> <p>○毎日給食を作る中で、食器、食缶など返しに来てくれる時に子供達が、給食おいしかったです、今日は野菜を全部たべれました、今日はきれいな野菜があつてたべれませんでしたなど、声を聞く事ができるけど、センターになったらそうゆう声を聞く事がなくなる事がすごくさびしいです。</p>	<p>使用する農産物などの食材については、地産地消の推進を図るため、可能な限り「三次産」を使用したいと考えており、異物混入の防止については、人的・設備的に必要な対応を行います。</p> <p>新調理場整備後は、ICT 等を活用し調理場と配送校 17 校をつなぐことで、これまで聞けなかった配送校の声も聞こえるようになります。</p>
43	<p>基本的には、原案（四拾貫種鶏場跡地への一括）に賛成します。現状の調理場は当時の衛生基準を満たしているものの、現状の衛生基準には達していないことを考えると早急な対応が必要です。一方、今後の三次市の人口（小中学生）、市の財政を考えると、現状の給食調理場をすべて修繕し、維持するという事は不可能です。調理場が統合されることで、地元食材や地元らしい給食が提供されなくなるという意見もありますが、三</p>	<p>整備計画（案）の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p> <p>この度対象の各調理場においも、地場産物の使用割合はそれぞれ違いますが、今後割合の高い地域の取り組みを広げ市全体として地産地消</p>

	<p>次の生徒・児童にとって、「地元住んでいる地域」だけではなく、「三次市全体」が「地元」ですから、一か所に統合されても、その施設で積極的に三次産の食材を使う事は必要だと思います。中学校での完全給食提供も含め、給食の安全性、将来へのコスト削減等、早急な整備（1拠点集中）を望みます。</p>	<p>の推進を行っていきます。</p> <p>【整備計画（案） 3整備の方針(4)に反映】</p>
44	<p>○調理場を1カ所集約することについて</p> <p>現在、子どもたちの様子を実際に見て、食の課題を把握し、それを給食献立や指導に反映させることができているが、それが難しくなる。急な変更等（天候や休校等）にも臨機応変な対応は困難になる。調理場からの出先が増えるほど、調理の現場は細かな作業が難しくなり、煩雑になる。新調理場への移行を検討されている小・中学校をひとくくりにして、給食提供することには疑問が残る。</p> <p>○食物アレルギーへの対応について</p> <p>アレルギー対応食については「除去食を基本とした」と書かれているが、対応する品目を限定するかしないかで話が変わる。除去するのであればすべてに対応できるわけではない。複数品目の除去を対応することで、成立しない献立・メニューも出てきて、バラエティに富んだ給食とはかけ離れていく場合もある。</p> <p>対応品目を絞ることによって、今度は学校での対応には最大限の注意を払う必要がでてくる。十分な職員の配置も検討していただきたい。</p> <p>○地場産物の活用について</p> <p>現在500食足らずの食数においても、地場産物の活用は十分とはいえない。量が多くて納品できないということは多々ある。大きな規模になればなるほど、大きな組織として取り組んでいかないと地場産活用はできないと思う。</p>	<p>新調理場整備後は、ICT等を活用し調理場と配送校17校をつなぐことで、これまで聞けなかった配送校の声も聞こえるようになります。</p> <p>安全性を最優先とするため、「三次市学校給食危機管理マニュアル」においても、「施設設備、人員等を鑑み無理な（過度に複雑な）対応は行わない」旨記載しています。</p> <p>地産地消の取組については、JA三次・生産者・栄養教諭や栄養士、市等で構成する「（仮称）学校給食食材安定供給協議会」の中で取り組んでいきます。</p> <p>状況変化による対応については、現在も単独調理場2、共同調理場4、デリバリー1の7箇所調理場で17校へ給食を提供している状況であり、臨機応変な対応については今後様々な場面を想定し、調理場現場と対応策を図っていきます。</p>
45	<p>現状の古い調理場が、制度上適合していないという問題があると同時に、建て替える費用と今後の学生数の減少傾向を踏まえれば、一か所に集約してしまうこと自体は理解できる。</p> <p>一方で、四拾貫町に設置するとなると、八次・和田などでは比較的近いままである一方、川西や川地などでは（2時間以内という基準は満たしているにせよ）遠くなってしまう</p>	<p>整備計画（案）の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p> <p>建設予定候補地は、浸水や土砂災害の被害の可能性が低い市有地を中心に検討を行い、一定の広さが確保できることなど総合的に判断して</p>

	ため、もう少し平準化した場所の方がいいのではないかと考える。	おります。
46	<p>いつも大変お世話になっております。</p> <p>厳しい財政状況の中で、三次市の子どもたちのためにご尽力いただきありがとうございます。新しい調理場ができることにより、三次市で育つ子どもたちが市内のどこの小・中学校に通っても、同じように安全・安心でおいしい給食を提供していただけるようになるのですから、本当にありがたいことだと思います。</p> <p>これを機に、地産地消の取組がさらに広がることにより、食育がますます充実したものとなれば、それが三次市で育つ子どもたちの体と心の健康につながると確信します。</p>	<p>整備計画（案）の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p>
47	<p>私は三次市の小・中学校に通い、9年間おいしい給食をいただきました。けれどもこの三次市新学校給食調理場整備計画のことを知って、給食をいただけることは当たり前のことではなかったのだと気づかされ、改めて感謝しています。早く新しい給食調理場できて、三次市の全ての小・中学生がおいしい給食を食べられるようになるとうれしいと思います。</p>	<p>整備計画（案）の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p>
48	<p>施設の老朽化、衛生管理基準に準拠した施設とすること、施設は安全な場所へ建築されていること、一部中学校のデリバリー給食を調理場からの給食提供、等々の整備を実施するには、一箇所へまとめて整備することに賛成します。</p> <p>それにより、一体的な危機管理、広範囲での地産地消の展開が可能となります。</p> <p>様々なリスク回避に向けては、対策も講じられると思いますが、急ぎよのことで、調理不能という事態が発生した時の対応や有事の際の備蓄倉庫の設置など、防災機能を整備計画案へ記載することが、少しでも皆さんへ安心感を与えることができると思いますので、検討をお願いします。早期の着工を期待しています。</p>	<p>整備計画（案）の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p> <p>急遽の事態また、災害などの有事に備え、非常食などを備蓄できるスペースを設けるなど、防災機能を備えた施設の整備を行います。</p> <p>また、配送困難な状況に備え備蓄食を学校に保管する等の対策を講じます。</p> <p>【整備計画（案） 3 整備の方針(3)に反映】</p> <p>【整備計画（案） 7 多機能化に反映】</p>
49	<p>小学校、中学校の給食を1つのセンターで作る計画ですが、小学生と中学生では使う食器の大きさ、箸の長さ、摂取栄養量など様々なことが違って、1つの調理場で小・中の給食を同時に作ろうとすると働く側の負担が大きいです。</p>	<p>食物アレルギーの対応については、現在も「三次市学校給食危機管理マニュアル」に基づき実施しており、安全性を最優先とする方針の</p>

	<p>小学校、中学校の調理場を分けて作る、という案はどうでしょうか。</p> <p>調理場1か所、調理場2か所、小・中別々の調理場2か所、などと色々な案を比較、検討して、それを踏まえてどの調理場を建てるのかを決めていただけたら、と思います。</p> <p>新しい調理場について、アレルギー対応専用調理室を設備する、とありますが、そのような書き方ではどんなアレルギーについても対応できそうにみえてしまいます。現実問題、アレルギー専用調理室があっても、今の三次市内の各調理場が対応している種類のアレルギーを対応することは不可能です。</p> <p>大規模調理場なので、早い段階で対応できるアレルギーを限定し、話を進めていかないと働く側への負担がますます大きくなってしまいます。</p> <p>アレルギー対応が今までのようにできない、という風に説明すると調理場の再編計画に反対する人が増えてしまうかもしれませんが…</p> <p>できない事実を隠して話を進めてしまうのもいけないように思います。</p> <p>今回再編計画から外れている君田、布野、作木、甲奴、三和、吉舎についても旧三次市内の調理場と比べたら年月は経っていませんが、すでに老朽化が進み、日々の調理作業に不安を感じる事が多々あります。今は旧三次市内の再編にばかり目がいきますが、今回の再編には含まれていない調理場がこれからどうなっていくのかも示してもらえないととても不安です。</p> <p>すすめていくうえでとても大変な計画だと思いますが、だからこそ現場の声もしっかりくみとって進めてもらいたいです。</p> <p>三次市の子どもたちにとって良い食育の場、安心安全でおいしい給食の提供ができることが理想だと思います。そのためにできることは協力したいです。</p> <p>そのためにも現場の声をきく場を提供していただけたら、と思います。</p> <p>よろしくをお願いします。</p>	<p>もと引き続き実施していきます。</p> <p>本計画は、旧市内6調理場を対象とした計画としています。利用可能な旧町村内の施設については本計画の対象としていません。</p> <p>将来を担う子どもたちに過度な財政負担をさせないことも重要です。</p> <p>現場からの声はこれまでも聞く場を設けてきましたが、今後においても継続して意見を聞く場を設けていきます。</p>
50	<p>現在、給食調理場整備計画は旧三次市内の小中学校に給食を提供することになっていますが、川西、田幸の調理場については存続を望む声もあり、署名も集まっています。それに対し、未だ市の方針が見えないため、署名に対する対応について明確に答えていた</p>	<p>署名の出ている地域の地産地消の取組については、市内全域で取り組むべきモデルケースととらえており、今後各学校においても食育の推</p>

	<p>だきたいと思います。また、その市民の声にこたえるには、パブリックコメントだけでなく、市民と十分に議論する場を設けるのが適当だと思います。時間はかかりますが、地域に与える影響を鑑みると、必要な手続きだと思いますので、ご検討ください。</p>	<p>進を図っていきます。</p> <p>調理場からの給食の提供が行えていない学校があることについては喫緊の課題と考えており、その解消に向け早急に取り組む必要があります。</p> <p>将来を担う子どもたちに過度な財政負担をさせないことも重要です。</p>
51	<p>いつも大変お世話になっております。「食べることは生きること」です。児童は食育により多くのことを学び、世の中で多くの人々の営みやいろいろなことが関連し合っていることに気付きます。学校給食の貢献は計り知れません。</p> <p>今回の調理場整備計画は、安心安全な給食を提供するために必要な施設を整えるために必要不可欠な計画だと思います。新耐震基準に準拠していること、衛生管理面の基準に準拠していること、防災面に配慮されていること等、安心安全な給食は安心安全な調理場から生まれると思います。老朽化し、安全基準に適合していない調理場は、計画的に安心できる新しい学校給食調理場へ整備していくことを望みます。</p>	<p>整備計画（案）の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p> <p>本整備計画（案）に記載した事項に沿って、市立小中学校児童生徒への給食提供の早期実施を図ります。</p> <p>【整備計画（案） 2 基本理念に反映】</p>
52	<p>三次市のみならず日本全体の社会的、経済的状況を踏まえ、夫婦共稼ぎやひとり親家庭の増加を鑑みると、中学校での安定的な給食提供は、必要不可欠な行政サービスとなっていると思います。安全で衛生的な給食が安定的に提供されることが、最も優先されるべきことであると考えます。</p>	<p>整備計画（案）の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p>
53	<p>1. 署名が多く集まっていることの意味を捉えている姿勢、住民の不安に寄り添う姿勢を継続的に表してほしい。例えば住民意見（不安の声）を整理してHPなどで公開するなど様々な手段を通して、市の住民に対する誠実な態度を示せるのではないか。</p> <p>2. 大規模化すると「人」が見えなくなり、機械的になる。三次市の教育の魅力づくりは、若者世代の移住定住にとって重要な項目である。三次市の「売り」は、人の見える地域性がその一つにあり、熱心に学校教育に協力してくださる地域の人々の姿がある。学校給食が大規模化することによって、地域住民にとって協力しにくい場となってしま</p>	<p>住民意見の反映については、対象学区の公立保育所市立小中学校の保護者アンケート及び、パブリックコメントの募集を行い、幅広い意見聴取に努めています。</p> <p>地域の食材は再編しても食材については引き続き納入いただくよう、仕組み作りに取り組んでいます。</p>

	<p>う。その損失は、なにによって補うのか、書き込んでほしい。</p> <p>3. これからの学校給食と三次市の学校教育の魅力づくりビジョンを示し、共感の輪を広げることによって、市民のリーダーとしての機能を果たして行ってほしい。</p>	<p>また、ICT を活用し生産者と調理場、児童生徒を繋いでいきます。</p> <p>学校と地域の方の繋がりはこれまで通り講師等として来ていただくなど、食育の推進を図って行きます。</p>
54	<p>広い三次市の中でたった一つの給食センターというのは無理があると思います。種鶏場跡地からでは川地中学校区まで40分くらいかかることを考えると温度を保つことも菌の繁殖を防ぐこともまた逆に煮込みが進んでしまうことを防ぐことも難しいと思います。東広島のように給食センターが大型化しているところでも3つの地区に分かれています。三次でも中央、東部、西部のようにし、西部を川地地区に新設するようにして川地小、中学校、清河小学校、粟屋小学校、そして将来的には三和地区にも配送してはどうでしょうか。自校式の給食調理場を残し食育を続けていくことが望ましいですが、それが無理なのであれば、3か所に分けて新設をしていただくようお願いいたします。</p> <p>川地地区では地域全体で食育に取り組み『顔が見える』『血の通った』食育をしています。子どもの心身ともに健全な育成のために今一度お考えいただきたいです。</p>	<p>これまで議論し、6調理場の1箇所案を提示しています。</p> <p>将来を担う子どもたちに過度な財政負担をさせないことも重要です。</p> <p>再編後も川地地区の取り組みを全体に広げていくよう取り組みます。</p> <p>現在三次市内の調理場は12箇所あり、旧三次市の調理場再編後は7箇所になる計画です。使える施設は引き続き活用していきます。</p> <p>菌の繁殖が活発になるのは調理後2時間を経過してからであり、「学校給食衛生管理基準」には、調理後2時間以内の喫食に努めることが提起されていますので基準値内と判断しています。</p>
55	<p>三次市が提示した「新調理場整備計画（案）」の整備の方針には「安全・安心な学校給食の提供」「全小中学校への給食提供」「地産地消の推進食育の充実」「将来の財政負担の軽減」が示され、三次市の将来を考えた時、どれも必要不可欠で今後、早期に新調理場が整備されることを強く望みます。</p> <p>給食の提供方法が地域で異なる問題や、デリバリー給食は食中毒防止の観点から温度を低く保つ必要から、冷たくて不人気であり、改善を求める問題は他都市でも発生しているようです。成長期である子供達が、「温かくて、栄養のある、美味しい給食を学校に</p>	<p>整備計画（案）の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p> <p>今回の整備計画（案）では、市内全ての小中学校の児童生徒に対して、安全安心な学校給食を衛生的に可能な限り同じ条件で安定的に継続して提供することを目的としており、記載した事項に沿って、市立小中学校児童生徒への給食</p>

	<p>行けば食べられる。」と思えるのも、学校生活において非常に重要な楽しみであると思 います。</p> <p>新調理場が整備され、運営次第では地産地消のあり方においても、生産者と三次市に 大きな可能性とチャンスを感じています。</p>	<p>提供の早期実施を図ります。</p> <p>【整備計画（案） 2 基本理念に反映】</p> <p>【整備計画（案） 3 整備の方針(4)に反映】</p>
56	<p>今の給食調理場の1箇所案に反対です。私の住む川地地区では地元生産者と学校、地域 が一体となった自校式の地産地消給食が行われています。この取り組みによって、児童 は感謝の気持ちとより身近な食育、地域愛を育て、高齢の生産者さんには生きがいにも なり、健康寿命を延ばすことにもつながり地域の輪もできていると感じています。</p> <p>三次市でも中心地と山間部では街の魅力作りが異なると思います。山間部でのこういっ た活動が都会からのIターンUターンを増やす魅力となり、これからの農業の後継者、 人口減少に歯止めをかける大切な取り組みだと思えます。コロナの時代により田舎暮 らしを考える街の方が増えています。山間部では山間部らしい魅力を発信していかなか てはいけない時です。</p> <p>川地は自校式給食と地域一体の地産地消の推進地域として残し、親子式を採用して小学 校中学校の給食をまかない、アピールすることが、三次市の魅力を増やすことにつな がると思えます。</p> <p>便利で魅力のある施設を持つ三次中心部と、豊かな自然をより活かした山間部の町づく りを分けて考えるべきだと思います。全て中心部の都合に合わせるの是不公平です。</p>	<p>今回の整備計画（案）では、市内全ての小中 学校の児童生徒に対して、安全安心な学校給食 を衛生的に可能な限り同じ条件で安定的に継続 して提供することを目的としています。</p> <p>再編後も川地地区の取り組みを全体に広げて いくよう取り組みます。</p>
57	<p>現代社会を語る上で「生産性」のある・なしが悪しきキーワードになっています。</p> <p>人間を「生産性」で見る前提には「効率性」という考えがあると思えます。</p> <p>効率よく物事をすすめてゆくために機械化そしてIT化が進められてゆく。</p> <p>しかし、そこに削りとられているものがあります。</p> <p>それは「人間性」つまり一人ひとりの違いを認め・向きあってゆくという時間と手間ひ まのかかる事です。</p> <p>学校現場には特にそれが重要です。</p> <p>大規模化はもっともなじみません。</p>	<p>今回の整備計画（案）では、市内全ての小中 学校の児童生徒に対して、安全安心な学校給食 を衛生的に可能な限り同じ条件で安定的に継続 して提供することを目的としています。</p>

	<p>学校給食も同じと考えます。 一カ所合併には反対です。</p>	
58	<p>・今でなく、10年後20年後の三次市の給食のビジョンの説明がほしい。 →大金をはたいて建設するべきかの判断の為</p> <p>・給食の重きは各市町村で全く違うので、他市や他県の4000食をまねして建設するものではない。</p> <p>令和5年までに、まず、中学校区で小中親子給食のスタイルで試行してみてもどうか？ 15年前の食数が現在は中学校入れても実施可能な数まで減っている。 保護者は弁当でなく、早く給食が食べたい。</p> <p>・JA三次の広島市の産直市への供給量が減少しているのに、市内の生産量を上げるシステムを説明していただきたい。</p> <p>・理想の空論でなく、欲張らず、できないことは早く明言しましょう。(現状移行のアレルギー対応、地産地消)</p> <p>・教育なのか、地産地消なのか的を絞り、センターは田舎には1つではなく、2～3つ必要です。</p>	<p>食物アレルギーの対応については、現在も「三次市学校給食危機管理マニュアル」に基づき実施しており、安全性を最優先とする方針のもと引き続き実施していきます。</p> <p>地産地消の推進については、JA三次・生産者・栄養教諭や栄養士、市等で構成する「(仮称)学校給食食材安定供給協議会」を新たに設立し、年間作付計画、出荷体制、生産者の拡大などに取り組んでいきます。</p> <p>安全安心な学校給食を出来るだけ同じ条件で、将来に渡って継続して供給していくため議論していただき、1箇所4000食規模を整備する計画としています。</p> <p>将来を担う子どもたちに過度な財政負担をさせないことも重要です。</p>
59	<p>三次市の給食調理場は三次市民のための施設であるので、地元意識を持った地元業者によって運営されるべきだと考えます。</p> <p>民間企業による大きな投資は非現実的であるため、公設民営の形態が望ましいと思われ ます。</p> <p>コスト削減による安全性の低下を防ぐためにも、一般的な競争入札ではなく安全意識が 高く、ある程度のノウハウを持った企業や組合等に委託することが必要であると考えま す。</p> <p>児童・生徒・保護者・生産者・受託者そしてその他全ての三次市民にとって関心の高い 大切な事業です。</p>	<p>整備計画(案)の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p> <p>管理運営については市において行うよう考えています。業務の一部民間委託については、いただいた意見も参考に今後検討を行っていきます。</p>

	広く意見を集めた上で決定・実行されますようお願い致します。	
60	<p>義務教育である小・中学校は、当然ながら、生徒の居住地がどこであっても、教育内容、教育環境に格差があってはならず、全ての生徒が平等に教育を受けることが保障されなくてはなりません。その意味において、現在、三次市内の旧三次市内と旧双三郡内の小中学校で、学校給食の状況に大きな格差があり、市町村合併後、もう少しで20年が経過しようとしているにも関わらず、特に、旧市内の中学校においては、デリバリー弁当での給食が「当たり前」（希望しない家庭では弁当持参が「当たり前」）となっている現状にある意味、不合理矛盾を感じざるを得ません。当然、全ての小中学校で、完全給食を保障する教育政策がとられるべきであると考えます。</p> <p>しかしながら、反対される方々は、「現在の地産地消の供給体制が崩壊する」「安全な給食が大人数になれば困難になる」との理由を唱えられております。この方々の不安を解消する具体策を的確に示し、三次市内の小中学生全員に温かい給食の提供を、財政の厳しい中ではあると思いますが、一日も早い共同調理場の実現をお願いします。</p>	<p>整備計画（案）の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p> <p>地産地消については現在食材を納入していただいている方には引き続き納入いただくよう考えています。さらにJA三次と連携しさらに地産地消に取り組んでいきます。</p> <p>現在学校給食衛生管理基準に準拠した施設でアレルギー対応も含め、安全安心な学校給食を早期に提供して行きます。</p>
61	<p>市の予算は今後も益々厳しくなり、それは学校給食関係にも及ぶと思います。本計画（案）により、財政負担の軽減、そして適正規模の給食調理場の施設・組織化がなされれば、それをもって給食の質（高品質な料理、衛生面の対策等）や調理場で働く方々の待遇面等も今後もある程度のレベルで維持されやすいと思います。よって、本計画（案）に賛成です。</p>	<p>整備計画（案）の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p>
62	<ul style="list-style-type: none"> ●「(仮称)三次市新学校給食調理場整備計画」について基本的な考えとしては、「賛成」。 ●運営方法について以下の意見があります。 ●各地域への配送給食が冷める欠点は、配送する容器や車の改善を望む ●アレルギー問題除去食であるが、代替食が望ましい ●選択制給食・弁当・複数のデリバリー選択できればよい ●地産地消の取組食材確保の問題があるので、各地域の地産地消メニューは全校分ではなく1校分を日ごとに変えていってはどうか。 ●運営（給食費）学校現場で給食費徴収の対応をしているが、自治体で管理運営に変え 	<p>整備計画（案）の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p> <p>「三次市学校給食危機管理マニュアル」において、安全性確保のため除去対応が原則としていますが、主食・主菜又は果物等のデザートは可能な範囲での代替え対応としています。</p> <p>1校分のメニューを日替わりにすることは難しいと思いますが、地域のメニューを全体に提</p>

	<p>ることはできないのか（コロナ禍の課題）</p> <p>●オンラインZOOMを活用し、各クラスに対し栄養指導員のアドバイスだったり、生産者の声を入れたりする。必ずしも地産地消は、三次市だけでなく広島県内や、日本という枠であってもよいと思う。「生産者の顔が見える」ことが食育につながる。</p>	<p>供することは可能ではないかと考えています。</p> <p>ICT等の情報技術の発達がこれからも加速すると考えられるため、様々なツールを利用するなどの取組を進めていきます。</p> <p>給食費の徴収については、給食会計の公会計化について現在検討を行っております。</p> <p>今回の整備計画（案）では、市内全ての小中学校の児童生徒に対して、安全安心な学校給食を衛生的に可能な限り同じ条件で安定的に継続して提供することを目的としています。</p> <p>【整備計画（案） 2 基本理念に反映】</p> <p>【整備計画（案） 3 整備の方針(5)に反映】</p>
63	<p>現在、学校給食を利用していませんが、三次市HPで内容を読ませていただきました。整備計画策定委員会の会議内容も拝読し、様々な立場からの意見や思いを知り、大変さや努力されている点もよくわかりました。全体を通しての意見、安全面、衛生面、施設の老朽化など、また必要な経費を考えると、三次市で考えられている「設備計画（案）」で進めることが、一番現実的だと思います。</p> <p>現場の職員方、生産農家、学校関係者、保護者の方々など様々な考えはあると思いますが、早期に決まることが子供達にとっては、一番なのではないかと感じました。</p> <p>今回のことは、子供たちにとっても大人になるまで続いていく事でもあると思います。</p> <p>自分が住んでいる市町で、何十年か後には同じように起こることなので、次に繋がる内容にまとめ、子供たちに託せるよう実現すればと思います。</p>	<p>整備計画（案）の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p>
64	<p>・現6調理場の老朽化による調理場整備を機に、旧市内中学校の完全給食実施を含めた食育が可能になり、整備計画は妥当だと思います。</p>	<p>整備計画（案）の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・相当数の食数を扱うことになるため、設備面だけでなく、人的な配置面も余力のある条件整備が必要だと考えます。 ・川地小中学校への給食運搬は他学区より時間を要することが想定される。特に、冬季については対策が必要だと思います。 <p>すべての子供たちが健やかに成長するよう調理場整備をよろしくお願いします。</p>	<p>比較的遠方の施設や季節に関わらず、安全な配送（運行）についての徹底を図ります。</p>
65	<p>現在の社会状況，市の将来展望を考える時，調理場の集約，合理化は必要と考える。</p>	<p>整備計画の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p>
66	<p>現在の調理場の現状や，学校給食が提供されていない学校があることを考えると，できるだけ早く整備が必要と思います。安全面やコストから計画案に賛成します。</p>	<p>整備計画の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p> <p>本整備計画（案）に記載した事項に沿って，市立小中学校児童生徒への給食提供の早期実施を図ります。</p>
67	<p>旧市内の調理場を1にするのは賛成です。地域ごとにある必要はないので。最高にいいものを1つだけつくってください。</p> <p>中学生のデリバリー給食利用者が少ないのは，給食が苦手ということもあるのではないのでしょうか。調理場を新設するからといって全小中学生に給食の利用を強制するのではなく，選択制にできないのでしょうか。原則全員利用ということにならないようにして欲しいです。</p>	<p>整備計画の趣旨に賛同のご意見として承ります。</p> <p>今回の整備計画では，市内全ての小中学校の児童生徒に対して，安全安心な学校給食を衛生的に可能な限り同じ条件で安定的に継続して提供することを目的としています。</p>